



同窓会会報

発行
 福島成蹊高等学校
 同窓会
 福島市上浜町5-10
 電話（522）2049
 発行人 石井 都
 印刷所 ㈲三共印刷所



「母校は成蹊と言える誇り」

同窓会会長 石井 都
（昭和41年度卒）

会員の皆様には、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より同窓会並びに母校に対する温かいご支援、ご協力に御礼申し上げます。

昨年二月二十八日、同窓会入会式の前に「高校時代の心を二十年後の自分達に送り届けること」を目的に福地先生

と謙信先生が担当となりタイムカプセル封印セレモニーに立ち会いました。十四クラス

の十四個のピンクの中着袋には三年間の様々な思いが詰ま

つていて、用意した箱のふたが閉まらない程でした。閉まらないふたを心配しましたが、後日大きな箱に変えたと聞き、三年間の学校生活の重

みは計り知れないものがあると改めて実感しました。このセレモニーは毎年行う予定と

言う事です。二十年後の開封セレモニーの参加者の中に会の運営に携わっている方達が

いる事に大いなる期待を抱きました。六月二十二日、総会を行ないました。顧問の皆様の出席

が行われました。今回は平成十六年度、平成十七年度卒業の学年を対象に「卒業二十周年記念同窓会」を生徒会・同窓会で

行いました。先生方も同席され、会場は華やいだ笑顔と会話に満ちあふれておりました。紙面五

頁をご覧ください。また、皆様もすでにご承知の事と思いますが、昭和六十年



「同窓会入会式」タイムカプセル封印セレモニーより

目次

- 会長挨拶 P.1
- 理事長・校長挨拶 P.2
- 会務報告 P.2
- 一般会計報告 P.2
- 特集** **卒業から5年・10年・15年・20年の皆さんへ**
～先生方からのメッセージ～ P.3
- 同窓会総会開催報告 P.4
- クラス会開催報告 P.4
- 役員紹介 P.4
- 住所変更のお知らせ P.4
- 卒業20周年記念同窓会・桃李祭 P.5
- キャンパスライフ P.6
- 高倉麻子さん日本サッカー協会殿堂入り ふるさと栄誉賞 受賞! P.6
- 同窓生の活躍 P.6
- 進路状況 P.7
- 新幹事紹介 P.8
- 総会のお知らせ P.8
- LINE公式アカウントのお知らせ P.8
- 事務局だより P.8



『教育の使命が、
更に大きく成る時代に向けて』

理事長・校長 本田 哲朗

同窓会の会員の皆様方には、常日頃から本校の隆盛の為に、物心両面にわたる多大なるご支援を賜り、衷心から厚く御礼を申し上げます。お陰を持ち、少子高齢化が進む中、多数の方々から支持される私学として、今日を迎える事が出来る事を心から嬉しく思っております。本当にありがとうございます。

さて、令和八年度の新入生からは三ヶ年教育を再編成し、これまでの三コース制から二コース制で教育を行っていく事になりましたので、お知らせいたします。新コースは、主に大学進学志望生徒のための『志学文理コース』と、短大・専門学校・就職志望者向けの『実理総合コース』になります。特徴は両コース共に授業時間を揃え、学年更新時に希望に応じてコース間の移動を可能にしている事です。

今般、就学支援金制度の拡充で、公立高校同様に授業料が無償化されました。私学は、この事で、本校の教育力の高さが一層評価されるのを確言します。特に、難関大学に強い『中高一貫教育』も、学納金の面で三年間だけの支出になりますので併せてご理解下さい。新たに同窓生のご子弟に対する経済的配慮も新設しました。これら詳細についてはHP（ホームページ）でご確認下さい。

国際情勢を含め未来は不透明で予想が困難と言われます。だからこそ、教育の果たす役割は、益々大切になると確言して居ります。このようなか中、多くの同窓生の関係者の皆様方の教育に携われれば嬉しく思っておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

1. 収入金額 4,794,273円 2. 支出金額 1,610,405円 3. 差引金額 3,183,868円 ※次年度へ繰越

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	適 用
会 費	2,172,000	2,160,000	△12,000	6,000×360人
運営協力費	25,285	25,285	0	5年度運営協力費より
預金利子	500	1,972	1,472	普通預金利子
雑 収入	200,000	133,800	△66,200	総会費、オリジナルキューピー
繰 越 金	2,473,216	2,473,216	0	前年度より繰入
合 計	4,871,001	4,794,273	△76,728	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	適 用
事 業 費	800,000	158,407	△641,593	総会、ホームカミングデー
会 議 費	100,000	10,074	△89,926	役員会、入学式等
会報発行費	200,000	180,180	△19,820	会報第31号
協 力 費	300,000	322,616	22,616	全国大会祝金、卒業証書ホルダー等
交 誼 費	50,000	0	△50,000	慶弔費
通 信 費	400,000	204,496	△195,504	郵便料、名簿補助
旅 費	0	0	0	
事 務 費	200,000	134,632	△65,368	印刷費、事務用品等
特別積立費	600,000	600,000	0	
予 備 費	2,221,001	0	△2,221,001	
合 計	4,871,001	1,610,405	△3,260,596	

特別積立金（令和7年3月31日現在）

5,676,199円

運営協力費（令和7年3月31日現在）

32,460円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます

令和7年4月18日 会計監査 大概 芳恵 高橋 晴佳

会 務 報 告

令和6年

4月10日	入学式出席
13日	定例役員会 会報30号発送 会計監査
5月18日	定例役員会
6月9日	同窓会総会開催
7月6日	定例役員会
8月2日	ホームカミングデー
9月21日	定例役員会

令和7年

1月25日	定例役員会
30日	新幹事顔合わせ
2月15日	定例役員会
28日	同窓会入会式
3月1日	会報31号発行



先生方からのメッセージ

卒業時に担任だった5名の先生にスポットをあて、今、成蹊高校で何をしているか、また卒業当時を思い出していただきひとことメッセージをお願いします。

平成27年度 3年2組 担任 石井智憲先生

皆さんと過ごした3年間は、かけがえない時間として今でも思い出されます。特進コースではありましたが、学校行事も全力で楽しみましたね。合唱祭では「Let It Go」をクラス一丸となり歌い切りましたし、桃李祭の「お化け屋敷」も大盛況でした。球技大会のサッカーでは、特進コースとは思えないほどの運動神経のよさを学校中に示しましたね。時折、皆さんと会い、社会において活躍している様子を聞くと、頼もしい限りです。皆さんの幸せな人生を願っております。



2015年 現在



平成27年度 3年10組 担任 加藤貴義先生

10組卒業後10年、結婚・出産含め、本当にうれしく元気を貰える報告が何回もありました。ありがとうございます。10組は大変濃密でしたね。私は10組以来担任をしていません。大変良いクラスと今も自負していますが、残念ながら人の評価は違ったようです。今も皆さんは10年前同様活気に満ち、やりたい・叶えたい・行きたい・出会いたいに向かって動き続けていますか？それぞれが幸せであることを心より祈っています。どうか幸せになってください。最後に南校舎新築のため1年間第2Gに居た腰浜校舎学年でもある皆さん、南校舎2期工事完成の際はぜひ学校に遊びに来てください。



2015年 現在



平成17年度 3年5組 担任 大竹 渉先生

月日にともない記憶は薄れていきますが、この原稿依頼を受けたおかげで、当時の出来事が沢山思い出されます。1年生の時に知った男子生徒受け入れと校名変更。2年生では桃李祭で実施したフォトスポットや、思い出深い沖縄修学旅行。そういえば2年時の副担任N先生を「育てたのは私たちだ!」と豪語していたことも…。本当に色濃い高校時代でしたね。そんなみなさんと今年度の桃李祭でお会いして、やはりあなたたちは、福島成蹊女子高等学校最後に相応しい学年だったと確信しました。その力強さをこれからも続けてほしいと思っています。



2005年 現在



平成22年度 3年12組 担任 伊澤 充先生

平成22年度3年12組の皆さん、お元気ですか。私は元気に今も成蹊で教員をしています。あれから15年、皆さんはどんな大人になっているのでしょうか。当時12クラスというのは成蹊史上最多クラス数でした。同じ普通コースの10組・11組は女子クラスでしたが、12組だけ男女混合クラスでしたね。男子とのやりとりは楽しかったです。女子は素直でかわいい生徒たちでした。またいつか会いたいですね。お体に気をつけて、お仕事、子育て、頑張ってください。



2010年 現在



令和2年度 3年3組 担任 唯木祐人先生

私は現在、文理選抜コース1学年を担当しております。みなさんが卒業した後も、文理選抜コースの副担任、担任をしていました。当時の思い出は、桃李祭で木製ジェットコースターを作り、参加部門で賞をもらったこと、研修旅行でマレーシアに行ったこと、3年生になる春休みにコロナが流行したことです。当時の経験が今に活かされていると幸いです。多くの人が社会人になっていると思いますが、お体に気をつけて、頑張ってください。



2020年 現在



同窓会総会

八島 厚子(昭和53年度卒)

〜母校といえる誇り〜

時代が流れ、現在私たちが卒業させて頂いた母校は、めまぐるしい発展、進化し憧れの学校となっております。毎年六月、同窓会総会に参加させて頂き、和やかで楽しい情報交換の場所です。

しかし、参加率が年々減りつつかくの総会が寂しいです。もつと沢山の卒業生が参加して頂きたいと願っております。総会は、私たちにとって形式的な集まりではなく、精神的な豊かさや、新たな活力をあたえてくれる貴重な機会である場であると私は思います。理事長・校長先生のご挨拶の中で、現在の母校の様子が伺えます。

私は、いつも活力をいただき、さまざまな気づきを頂く石井会長のご挨拶が楽しみです。さあ！総会にご参加ください！

あの青春の一ページに戻りませんか!!



クラス会

菊田 恵子(昭和57年度卒)

卒業し、月日が流れ母校を思い出すことも少なくなっていた折に久しく参加していただき、久しぶりに母校の空気に触れることができ、とても有意義な時間でした。

本田校長先生の話からは、現在の教育方針や生徒たちへの思いが伝わり、母校が今も大切に育てられていることを実感しました。

また、石井会長の話では同窓生同士のつながりや支え合いの大切さを改めて感じました。

母校の発展の様子を知ると、自分が学んだ場所が今も前進し続けていることがうれしく、心強く思います。

役員

顧問

丹野 リン(昭和21年度卒)

益田 幸子(昭和28年度卒)

上枝 治代(昭和22年度卒)

斉藤 ヨシ(昭和23年度卒)

浅野 良子(昭和36年度卒)

須田カヨ子(昭和41年度卒)

小林 征子(昭和35年度卒)

山科 直枝(昭和53年度卒)

石井 都(昭和41年度卒)

副会長

千葉 良彦(平成21年度卒)

大槻 芳恵(平成7年度卒)

高橋 晴佳(平成16年度卒)

関根 綾子(昭和55年度卒)

矢吹はる香(平成9年度卒)

書記

斎藤 綾子(昭和61年度卒)

菅野 愛(平成17年度卒)

幹事長

瓶子恵理子(平成4年度卒)

常任幹事

鈴木 徹(平成18年度卒)

穴澤あすか(平成18年度卒)

事務局

唯木 祐人(平成21年度卒)

善方 勝也(平成23年度卒)

末永 誠徳(平成24年度卒)

中澤 太郎(平成27年度卒)

大河内拓海(平成28年度卒)

齋藤 崇浩(平成30年度卒)

ホームページから住所変更ができるようになります

ホームページでは、同窓会からのお知らせや、同窓会報のバックナンバーもご覧いただけます。

また、ホームページから住所変更ができるようになります。ぜひ活用下さい。

毎年、宛先不明で多くの郵便物が戻ってきてしまっています。

住所及び連絡先等の変更をされた場合は、お手数ですが、すみやかに同窓会事務局にお知らせいただけますようお願いいたします。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。引き続き、郵送、電話、FAX、メールでも受付いたします。

下記のURLまたはQRコードよりホームページへアクセスいただけます。



http://www.f-seikei.ed.jp/hs/classreunion.php

卒業20周年記念同窓会

桃李祭の企画として卒業20周年記念同窓会が始まりました。今年度は2004（平成16）年度と2005（平成17）年度卒業の皆様でしたが、20年という時間を一瞬で飛び越え、会話に花が咲いておりました。次は2006（平成18）年度卒業生の方々です。夏前にご案内を送付いたしますので、ぜひ懐かしい学び舎に足をお運びください。

特別活動部部长 齋藤 謙信



成蹊 公式キャラクター ももまる SINCE 2024

これは私にとって思いがけない貴重な経験でした。お店の運営を通じて感じていた人とのつながりを、今回あらためて母校との関わりの中にも実感しました。このご縁を今後も大切にしたいと思います。

鈴木 千尋（平成16年度卒）
同窓会LINEで記念同窓会を知り、東京から仕事の隙を縫い夏空の下で成蹊を訪れました。五年超ぶりの母校。会場は特別教室となった元三・一・三二で、変わらない床板や天井に懐かしさが溢れます。担任団の先生はじめ、多数のお元気なお顔を拝見でき嬉しさが湧き立ちました。桃李祭の賑わいも現役や実習で伺った頃と変わらず、図書委員の古本市手伝いで在校生とじっくり話せ、この隔てなさこそ成蹊らしく愛しいものです。思い出話と共に友人と一つずつ開封すると手書きの字だけで誰かがわたり、あの三年がいかに深く刻み込まれているのを感じられ、幸せな時間でした。

塚辺 千晴（平成17年度卒）
当時の通学路を歩き母校に向かう。風景は様変わりして…駅前シダックスがない。しかし母校に足を踏み入れると、その姿は当時のまま。あの頃の出来事ごとつぶさに蘇る。大きな違いは見知らぬ南校舎・沢山の男子生徒・そして当時の我々よりも…女子が遙かに垢抜けていること。
カプセルの中身は更に私達の記憶を蘇らせる。「女子高最後」の球技大会賞状・黄色いパン注文書。雑誌ジッパーは表紙見てひっくり返った。
十八歳の私達へ。入っていた手紙通りの人ではないけど元気に楽しく生きてるよ。箱に残した思い出は大正解。懐かしさをありがとう。

桃 李 祭

菅崎 裕磨（平成26年度卒）

数年ぶりに学校を訪問した際、身内が運営する店を手伝っており、品物の行き先に悩んでいることを話の流れでお伝えしました。その場で出張販売をしたわけではありませんが、後日、大山先生が学校に掛け合ってくださいり桃李祭での出張販売が可能になったと連絡をいただきました。さらには先生方や高校時代の仲間にも協力していただき準備から当日まで支えていただきました。

キャンパスライフ



北海道大学 医学部保健学科放射線技術科学専攻 齋藤 結 (令和6年度卒)

様々な学部が集められたクラスの中で、他学部の友達と切磋琢磨しながら勉学に励んでいます。好奇心を掻き立てるような講義ばかりで、学ぶことが楽しいです。大学に入って何より嬉しかったのは、たくさんの人に出会えたことです。国際色豊かな北大では、様々な人種や言語の人々に出会い、人とのつながりが成長に繋がっていると感じます。



早稲田大学 文学部 文学科 高城 栞奈 (令和6年度卒)

大学生活は選択肢が多く、いつもワクワクします。例えば授業で全員発揮のリーダーシップについて学んだり、課外活動では学生だけで海外学生を探し、自分たちで見つけた企業でインターンシップをしてみたりしています。海外経験が豊富な学生や起業している学生など、多様な生徒とともに過ごせる環境で刺激的な日々を送っています。



山梨学院大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 井川 龍心 (令和6年度卒)

私は現在、自身の競技力の向上を目指して部活動に没頭しています。平日の早朝練習などもあり学業との両立が大変です。大学には様々な分野の先生が沢山いるのでそれぞれの授業ごとに深い学びを得られます。部活動の同期、先輩、コーチ陣のおかげで充実した生活を送れています。インカレ表彰台、日本選手権決勝を目標に切磋琢磨していきたいです。

高倉 麻子さん

日本サッカー協会殿堂入り
ふるさと栄誉賞受賞!!

齋藤 綾子 (昭和61年度卒)

日本サッカー協会殿堂入り及び、ふるさと栄誉賞受賞おめでとうございます。高倉さんのご活躍を当時の担任の先生、クラスの友が喜んでいてと思います。

フレンドリーで元気で笑顔が素敵な高倉さんは、ルーム長としてリーダーシップを発揮していました。クラス目標は「何事も一番」決めたからにはやる。そのポジティブなエネルギーは、クラスのみんなのモチベーションを高め、明るく楽しく、桃李祭の準備、合唱コンクールの練習等、団結して頑張った思い出があります。「高倉さんと同じクラスになった」がクラスの十大ニュースになったことは、みんなのうれしい気持ちであり誇りに思ったからで、今でも変わらなと思います。

高倉さんの今後のご活躍を心より応援しております。

同窓生の活躍

蓬田 利江 (平成5年度卒)

助産師免許取得から28年になります。現在町役場で母子保健・子育て支援業務や、地域学校協働活動のボランティア等を行っています。「お産」のイメージが強い助産師ですが、ママと赤ちゃんとその家族、そして女性が主な対象です。

赤間 峻 (平成26年度卒)

住民との出逢いは母子手帳交付に始まりです。会話をすすめていくと、不安なことや心配なことを表出して下さり、一緒に考えていくことで信頼関係を深めていきます。産後や子育てを安心して行っていくために家庭訪問は欠かせません。

現在は特別支援学校の高等部で、生徒たちの将来の自立に向けて教員として働いています。日々の実践では、目に見える課題だけでなく、水面下にある本人の感情や特性を丁寧に捉える「冰山モデル」の視点を大切にし、一人ひとりと真摯に向き合うことを信条としています。生徒たちが社会へ羽ばたく準備を整え、自信に満ちた表情で卒業していく姿を見守ることが、私にとっての大きな目標です。苦労することもありますが、一生懸命に学ぶ生徒たちの姿から毎日たくさんの元気をもらっています。この仕事に誇りを持ち、これからも楽しみながら教育現場に励んでいきたいです。



令和七年度進路状況

進路部部长 加藤 貴義

令和七年度も同窓会会員の皆様のご支援のおかげで多くの進路関連行事を実施することが出来ました。これも皆様のご支援のおかげと感謝しております。誠にありがとうございました。

入試環境が大きく変わり大学・専門学校など学校種に問わず総合型選抜・推薦型選抜での受験が多くなり、本校でも多くの生徒が令和七年度中に進路先を決定しています。別表にてご確認ください。一般選抜を控える生徒も最後の努力に励んでいます。今後も生徒一人一人が人間を大切にすることを忘れるよう桃李の精神を忘れず教育活動に取り組んでまいります。今後も生徒たちの希望進路実現に応援いたします。



令和7年度進路状況

令和8年2月13日現在（一部の学校のみ記載）

Table with 3 columns: Category (e.g., 大学, 短期大学, 専門学校, 就職), Count, and List of institutions.

令和6年度進路実績

令和7年3月31日確定版（一部の学校のみ記載）

Table with 3 columns: Category (e.g., 大学, 短期大学, 専門学校, 就職), Count, and List of institutions.

十一組	十組	九組	八組	七組	六組	五組	四組	三組	二組	一組
杉齋	庄杉	西佐	渡菊	安太	佐斎	緑小	武三	高秋	半稻	渡塚
谷藤	子内	野藤	邊池	田田	藤藤	川野	藤浦	橋葉	澤村	邊田
俊真	菜臣	禮凛	凛加	瑞美	香蒼	利楓	す橙	百翔	翔合	希那
晴子	美都	星地	郎步	奈生	遼希	奈悟	仁花	隼れ	弥那	子紬

新幹事




校歌

作詞 坂内 寛
作曲 古閑 裕而

わが学び舎の名もゆかし
桃李の花の匂へれば
ものいはねども慕ひくる
かげやこみちとなりぬべき

金剛石のみさとしに
阿武隈川のよどみなく
進みゆく世に遅れじと
いそむ技の楽しさよ



令和8年度 総会のお知らせ

今回は遠方からも参加しやすいよう要望の多かった土曜日に開催します。
また、懇親会も7年ぶりにお食事をしながらゆっくり懇談していただけるようにします。
皆様のご参加お待ちしております。


- 日 時 / 令和8年6月27日(土) 午前10時30分～
- 場 所 / キョウワグループ・テルサホール(福島テルサ)
※指定駐車場があります。詳しくはテルサホームページをご覧ください。
- 総 会 : 3階 あぶくま
- 懇親会 : 2階 エフズサンパレス
会費 2,000円
- お問い合わせ / 福島成蹊高等学校 同窓会事務局
TEL 024-522-2049

会報第三十二号は特集記事の該当学年である平成十七・二十二年・二十七・令和二年度卒業の皆様にご送付いたします。また、皆様にご協力いただきました運営協力費は、会報送付等に使用させていただきます。引き続きご協力お願いいたします。クラス会開催の際は、通信費をお渡しいたします。ぜひ情報をお寄せください。
ご連絡お待ちしております。

事務局日より

LINE公式アカウント

同窓会では【LINE公式アカウント】を開設しています!!多くの同窓生の皆さんとスムーズに、そしてスピーディーに繋がることが可能です。様々な行事の告知や母校の活躍などLINEを使って発信しています。まだLINEの友だちになってない同窓生がいらっしゃいましたら、ぜひ同窓会のLINEを教えてください。LINEの友だち追加をお願いします。



LINE ID ▶ @336tcvqp

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください

◆ 配信のみ ◆

◆ ご質問・お問い合わせは、事務局まで電話、FAX、メールでお願いします。 ◆

皆様、今回の会報はお楽しんでいただけでしたか。記事をお読みにいただき、ご感想などお寄せいただけましたと幸いです。今回は「卒業二十周年記念同窓会」について、特集しています。次年度からも引き続き開催される計画です。今後卒業二十周年を迎える卒業生の皆様楽しみにお待ちしております。

さて、令和八年六月には、同窓会総会と懇親会を開催いたします。懇親会は七年ぶりの開催となります。ほんのひととき高校時代を思い出しませんか。皆様のご参加をお待ちしております。

これからも引き続き魅力ある同窓会運営に役員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

編集後記

追悼

令和七年八月十五日
元教諭 高久 房子 先生
令和七年十月二日
元教諭 横山 昭夫 先生
ご逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

◆ 退職される先生方 ◆

教諭 井上 恵利香
教諭 齋藤 崇浩